

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】(グローバルスタディーズ)

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル		メジャー	グローバルスタディーズ															
		マイナー	アメリカ地域研究															
養成する人材像		事業の論理の基本を理解し、いかなる事業分野にあっても自らをグローバルな視野の中で位置づけて活動できる人物																
		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1semester	単位	第2semester	単位	第3semester	単位	第4semester	単位	第5semester	単位	第6semester	単位	第7semester	単位	第8semester	単位	
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1									8
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1									
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2									8
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門	1	情報リテラシー・応用	1	生態学	2	国際社会と政治	2	総合科目	2	国際社会とNGO	2					26
	数理学	2	環境の科学	2	言語と人間	2	現代コミュニケーション論	2			現代の思想	2						
			現代社会論	2														
			社会と宗教	2														
			社会学	2														
	体育分野	スポーツ・健康演習	2														2	
専門教育科目	基幹科目A群	文化記号論入門	2			多文化コミュニケーション	2										8	
		言語認知論	2															
		歴史リテラシー入門	2															
	基幹科目B群	世界政治事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	比較宗教論入門	2									
		フィールドワーク入門	2	現代アジア事情	2	比較文学論入門	2	日本の伝統芸能	2									
				現代ヨーロッパ事情	2													
	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4	
										国際フィールドワーク I	2							
	展開科目					グローバルスタディーズ概論	2	グローバルポリティクスII	2	グローバル植生論	2	イスラーム世界論	2					
					グローバルポリティクスI	2	グローバル産業社会論	2	平和学	2	アメリカ政治社会論	2						
					政治哲学	2	国際開発論	2	国際政治経済学	2	アメリカ経済論	2						
							アメリカ文化史	2	アメリカ文化論	2	American Culture	2						
									アメリカ宗教社会論	2	Traditional Japan	2						
										Introduction to Cultural Studies	2							
合計			21		21		22		22		18		20		2		6	132

(注) この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2カ国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計 12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】(カルチュラルスタディーズ)

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル	メジャー	カルチュラルスタディーズ																
	マイナー	アメリカ地域研究																
養成する人材像	多文化的な視点を持ち、異文化理解に基づく国際コミュニケーション能力を生かし、国際的な場で活躍できる人物																	
	1年次				2年次				3年次				4年次		合計単位			
	第1semester	単位	第2semester	単位	第3semester	単位	第4semester	単位	第5semester	単位	第6semester	単位	第7semester	単位		第8semester	単位	
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1								8	
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1								8	
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2									
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1													
数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	民族と文化	2	美術と人間	2	総合科目	2	現代の思想	2					26	
	科学と社会	2	環境の科学	2	異文化コミュニケーション	2	映画と人間	2			音楽と人間	2						
			現代コミュニケーション論	2														
			現代社会とメディア	2														
体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
	文化記号論入門	2			歴史リテラシー入門	2											8	
基幹科目A群	言語文化論	2																
	多文化コミュニケーション	2																
	世界政治事情	現代日本事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	現代アジア事情	2								16	
フィールドワーク入門		2	現代アメリカ事情	2			日本の伝統	2										
			現代ヨーロッパ事情	2														
演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26	
									Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4		
									国際フィールドワーク I	2								
展開科目					Introduction to Cultural Studies	2	Culture through the Arts	2	Social Cultural Issues in Films	2	アメリカ生活文化論	2					34	
					Rituals and Ceremonies	2	American Culture	2	アメリカ文化論	2	アメリカ宗教社会論	2						
					Topics in the Arts	2	Topics in Multicultural Studies	2	Introduction to Media Studies	2	アメリカ民俗論	2						
					Popular Culture	2			Topics in the Arts	2	アメリカ文化史	2						
									アメリカサブカルチャー論	2	ヨーロッパサブカルチャー論	2						
合計		21		21		22		20		18		18		2		6	128	

(注)この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2か国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計 12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】〔国際観光学(異文化理解)〕

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル		メジャー		国際観光学(異文化理解)															
		マイナー		日本・アジア地域研究															
養成する人材像		グローバルな観光事業・産業に携わり、文化間交流や国際親善、そして地域振興を促進することができる人物																	
		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位	
		第1semester	単位	第2semester	単位	第3semester	単位	第4semester	単位	第5semester	単位	第6semester	単位	第7semester	単位	第8semester	単位		
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1									8	
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1										
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2									8	
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1														
共通教育科目	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門	1	情報リテラシー・応用	1	生態学	2	国際社会と政治	2	総合科目	2	国際社会とNGO	2					26	
		数理学	2	環境の科学	2	言語と人間	2	現代コミュニケーション論	2			現代の思想	2						
				現代社会論	2														
				社会と宗教	2														
				社会学	2														
共通教育科目	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
		専門教育科目	基幹科目A群	文化記号論入門	2		多文化コミュニケーション	2											8
言語認知論	2																		
歴史リテラシー入門	2																		
専門教育科目	基幹科目B群	世界政治事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	比較宗教論入門	2								18		
		フィールドワーク入門	2	現代アジア事情	2	比較文学論入門	2	日本の伝統芸能	2										
				現代ヨーロッパ事情	2														
専門教育科目	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26	
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4		
専門教育科目	展開科目					国際観光学概論	2	東アジア観光文化論	2	日本・アジア生活文化論	2	国際観光学特殊講義	2					36	
						観光文化論	2	世界遺産論	2	日本・アジア文化論(中国)	2	国際観光地理	2						
						民具・民芸論	2	現代フォークロア論	2	日本・アジア文化論(韓国)	2	Traditional Japan	2						
								民族芸術論	2	グローバルスタディーズ概論	2	日本・アジア文化史	2						
										グローバルポリティクス I	2	グローバルポリティクス II	2						
												Introduction to Cultural Studies	2						
合計			21		21		22		22		18		20		2		6	132	

(注) この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2か国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】(アメリカ地域研究)

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル	メジャー	アメリカ地域研究																
	マイナー	カルチュラルスタディーズ																
養成する人材像	アメリカ地域への理解を深め、異文化理解に基づく国際コミュニケーション能力を生かし、国際的な場で活躍できる人物																	
	1年次				2年次				3年次				4年次		合計単位			
	第1semester	単位	第2semester	単位	第3semester	単位	第4semester	単位	第5semester	単位	第6semester	単位	第7semester	単位		第8semester	単位	
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1								8	
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1								8	
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2									
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1													
共通教育科目	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	民族と文化	2	民族と国家	2	総合科目	2	現代の思想	2				26	
		科学と社会	2	環境の科学	2	異文化コミュニケーション	2	社会と宗教	2			国際事情	2					
				現代コミュニケーション論	2													
				現代社会とメディア	2													
共通教育科目	体育分野	スポーツ・健康演習	2														2	
		文化記号論入門	2			歴史リテラシー入門	2										8	
		言語文化論	2															
		多文化コミュニケーション	2															
専門教育科目	基幹科目A群	世界政治事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	現代アジア事情	2								14	
		フィールドワーク入門	2	現代アメリカ事情	2													
				現代ヨーロッパ事情	2													
専門教育科目	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4	
											国際フィールドワーク I	2						
専門教育科目	展開科目					アメリカ文化論	2	American Culture	2	アメリカ経済論	2	アメリカ宗教社会史	2				36	
						Introduction to Cultural Studies	2	アメリカ生活文化論	2	ヨーロッパ生活文化論	2	ヨーロッパサブカルチャー論	2					
						Rituals and Ceremonies	2	アメリカ民俗論	2	Popular Culture	2	Topics in the Arts	2					
								アメリカ文化史	2	Social Cultural Issues in Films	2	Culture through the Arts	2					
								Topics in Multicultural Studies	2	アメリカサブカルチャー論	2	アメリカ政治社会論	2					
合計		21		21		20		22		18		18		2		6	128	

(注)この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2か国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計 12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】(日本・アジア地域研究)

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いていきます。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル		メジャー	日本・アジア地域研究															
		マイナー	グローバルスタディーズ															
養成する人材像		日本およびアジアへの理解を基底とし、さらに欧米への知見をも合わせ備えた国際的な視野を持った人物																
		1年次				2年次				3年次				4年次		合計単位		
		第1semester	単位	第2semester	単位	第3semester	単位	第4semester	単位	第5semester	単位	第6semester	単位	第7semester	単位		第8semester	単位
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1								8	
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1									
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2									8
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門	1	情報リテラシー・応用	1	生態学	2	国際社会と政治	2	総合科目	2	国際社会とNGO	2					26
	数理学	2	環境の科学	2	言語と人間	2	現代コミュニケーション論	2			現代の思想	2						
			現代社会論	2														
			社会と宗教	2														
			社会学	2														
	体育分野	スポーツ・健康演習	2														2	
専門教育科目	基幹科目A群	文化記号論入門	2		多文化コミュニケーション	2											8	
		言語認知論	2															
		歴史リテラシー入門	2															
	基幹科目B群	世界政治事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	比較宗教論入門	2									18
		フィールドワーク入門	2	現代アジア事情	2	比較文学論入門	2	日本の伝統芸能	2									
				現代ヨーロッパ事情	2													
	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26
									Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4		
										国際フィールドワーク I	2							
	展開科目					日本・アジア文化史	2	日本・アジア文化論(中国)	2	グローバルポリティクス I	2	Traditional Japan	2					36
					日本・アジア思想文化論	2	日本・アジア文化論(韓国)	2	グローバルポリティクス II	2	日本・アジア言語文化論	2						
					日本・アジアサバルチャー論	2	日本・アジア生活文化論	2	グローバル産業社会論	2	アメリカ文化論	2						
							グローバルスタディーズ概論	2	ヨーロッパ文化論	2	アメリカ民俗論	2						
									ヨーロッパ宗教社会論	2	政治哲学	2						
合計			21		21		22		22		18		20		2		6	132

(注) この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2カ国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

# 国際コミュニケーション学部 比較文化学科 履修モデル【2012年度以前入学生】(EU地域研究)

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・比較文化学科	※11～12入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。	
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部比較文化学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。	

履修モデル		メジャー	EU地域研究																	
		マイナー	グローバルスタディーズ																	
養成する人材像		EU地域への基本的な理解は世界を理解する上で欠かせない。広い教養にたつて様々な地域、特にEU地域との交流に貢献できる人物																		
		1次				2次				3次				4次				合計単位		
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位			
共通教育科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Reading III	1	Reading IV	1									8		
		Reading I	1	Reading II	1	Practical English	1	TOEIC I	1											
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1	〇〇語応用 I	2	〇〇語応用 II	2										8	
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1															
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門	1	情報リテラシー・応用	1	生態学	2	国際社会と政治	2	総合科目	2	国際社会とNGO	2						26	
数理学		2	環境の科学	2	言語と人間	2	現代コミュニケーション論	2			現代の思想	2								
			現代社会論	2																
			社会と宗教	2																
		社会学	2																	
	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2		
専門教育科目	基幹科目A群	文化記号論入門	2			多文化コミュニケーション	2											8		
		言語認知論	2																	
		歴史リテラシー入門	2																	
	基幹科目B群	世界政治事情	2	現代日本事情	2	比較文化論入門	2	比較宗教論入門	2										18	
		フィールドワーク入門	2	現代アジア事情	2	比較文学論入門	2	日本の伝統芸能	2											
				現代ヨーロッパ事情	2															
	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2		26	
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4			
											国際フィールドワーク I	2								
	展開科目					ヨーロッパ文化論	2	ヨーロッパ文学論	2	ヨーロッパ文化史	2	ヨーロッパ宗教社会論	2						36	
					観光文化論	2	世界遺産論	2	ヨーロッパ生活文化論	2	国際観光地理	2								
					ヨーロッパサブカルチャー論	2	グローバルスタディーズ概論	2	ヨーロッパ民俗論	2	Traditional Japan	2								
							平和学	2	ヨーロッパ経済論	2	ヨーロッパ政治社会論	2								
									グローバルポリティクス I	2	グローバルポリティクス II	2								
										国際開発論	2									
合計			21		21		22		22		18		20		2		6	132		

(注) この表は履修モデルの一例です。

卒業要件(卒業必要単位:124単位)

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2カ国語16単位
  - (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から26単位
  - (3) 体育分野 2単位
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。
  - (1) 基幹科目 A群6単位、B群6単位、計 12単位
  - (2) 演習科目 20単位
  - (3) 展開科目 36単位
- 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。